



第8回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

消費・安全局長賞

まつもとやまが 株式会社松本山雅

[長野県：活動期間 6 年]

スマイル山雅農業プロジェクト

ホームタウン内にある遊休農地を活用 して青大豆「あやみどり」の栽培

農業従事者の高齢化や、後継者不足等による農地の荒廃が深刻化するなか、松本市も農地の有効活用や、地域の農業技術の継承などの課題に直面しています。そこで、株式会社松本山雅は、松本市の農業従事者、直売所、および障がい福祉サービス事業所と共同で「スマイル山雅農業プロジェクト」を発足しました。本活動では、地域の農家さん、障がい福祉サービス事業所の皆さま、行政の皆さま、ファン・サポーターの皆さま等、多くの方と一緒に協力し、松本市、安曇野市（あずみのし）、生坂村（いくさかわら）内にある遊休農地で青大豆「あやみどり」の栽培を行っています。



地域の子どもと選手が
一緒に種まき



ガンズくんから保育園に
大豆の種を提供

育てた大豆は障がい福祉サービス事業所 で選別して市内保育園等の給食で提供

育てた青大豆「あやみどり」は、障がい福祉サービス事業所の皆さまに選別していただき、地域の保育園、幼稚園、小学校の給食として提供されています。給食を通して子どもたちへ採れた大豆を食べてもらう機会を作れていること、障がい福祉サービス事業所の皆さまへ作業していただいた分の工賃をお支払いできていること、そして、課題であった遊休農地の解消に成功し、農家さんが喜んでくれていることなど、地域の循環を作りながら食育活動を行っています。



大豆の選別作業



農業×食育絵本の贈呈



元選手と給食であやみどりを食べます

「遊休農地の活用」・「地域住民の交流活性化」・「青少年の育成」

松本市、安曇野市、生坂村内にある遊休農地を活用して青大豆「あやみどり」の栽培を行うことで、「遊休農地の活用」、「地域住民の交流活性化」、「青少年の育成」を図り、地域が直面する課題の解決にチャレンジしています。



選手が枝豆収穫



ホームゲームで採れたて枝豆の販売



あやみどりが豆腐に変身



親子で採れたての「あやみどり」や
地元産野菜をトッピングしてピザ作り



この度は「消費・安全局長賞」をいただき、誠に光栄に思います。松本市様からの地域課題に対して取り組むことをきっかけに、他市町村へも取組が広まり、様々な方と力を合わせ、ここまで活動が広がってきたことについて、大変うれしく思っています。これからも、地域の皆さま、ファン・サポーターの皆さまと共に地域での活動を広げていきたいと思っております。

株式会社松本山雅
代表取締役社長 神田 文之